

令和 8 年度 国語 2 年 年間指導計画

指導時期	学習単元・学習内容	教材名・学習活動
1 学期	文学的文章の読解	虹の足 タオル
	説明文・論説文の読解	日本の花火の楽しみ 水の山 富士山 夢を跳ぶ SNS から自由になるために／脚本で動きを説明する
	その他の活動	質問する力をつける 活用のない自立語 新聞の投書を書く まちがえやすい漢字 説得力のある提案をする 敬語 構成を明確にして手紙を書く 話し言葉と書き言葉 観点を明確にして伝える 漢字の成り立ち
2 学期	文学的文章の読解	敦盛の最期 随筆の味わい 二千五百年前からのメッセージ 坊っちゃん 短歌の味わい 夏の葬列
	説明文・論説文の読解	持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味 紙の建築 ガイアの知性
	その他の活動	根拠をもとに意見文を書く 活用のある自立語 映像作品の表現を考える 漢字の多義性 記事を書く 相違点を明確にして聞く
3 学期	文学的文章の読解	豚 走れメロス
	説明文・論説文の読解	学ぶ力
	その他の活動	よりよい結論を導く討論をする 付属語のいろいろ 類義語・対義語・多義語・同音語 「連作ショートショート」を書く 同音の漢字

令和8年度 書写 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4～6月	扉 第二学年	・第二学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。
	一 楷書で書こう	・日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心をもち、書かれた字形や身のまわりの文字について話し合い、文字について興味を深めることができる。
		・点画の省略を理解して書くことができる。
		・筆順の変化を理解して書くことができる。
		・これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。
	二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	・点画の連続と配列を理解して書くことができる。
		・行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。
		・「いろは歌」や五十音表について理解することができる。
		・文字の大きさや配列を理解して書くことができる。
		・短冊と色紙について関心をもつことができる。
		・行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。
		・行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。
12・1月	◇書き初めを書く	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。
1～3月	三 学習活動や日常生活に生かして書こう	・目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。
		・日本の伝統的な建築とそこに日常として使われていた「書」について理解することができる。
		・文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。
		・目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。
		・さまざまな楷書の古典について、関心をもつことができる。
		・書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。
		・伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。
		・文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもつことができる。

令和8年度 社会科 第2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名		学習活動の流れ		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	【歴史】 武家政権の展開と世界の動き	天下泰平の世の中 社会の変化と幕府の対策	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。	江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。	江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	【地理】 日本のさまざまな地域	身近な地域の調査	身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。	身近な地域の地理的事象から課題を見出し、身近な地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し表現する。	身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。
		日本の地域的特色	日本に見られる、日本の人口分布や年齢別人口構成、変化してきている日本の資源やエネルギー、交通・通信網の発達などに関する考え方を諸資料から適切に読み取り、世界と比べて日本の現状や課題を理解している。	世界と比べた日本の地域的特色を地域間の結びつきをもとに多面的・多角的に考察する。	世界と比べた日本の地域的特色について、世界との比較の視点からとらえ、追求しようとしている。
2 学期	【歴史】 近代国家の歩みと国際社会	欧米諸国における「近代化」 開国と幕府の終わり	欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	【地理】 日本の諸地域	九州地方	九州地方について、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	九州地方の地域的特色を、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	九州地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		中国・四国地方	中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	中国・四国地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中国・四国地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		近畿地方	近畿地方について、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに自然環境等の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近畿地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		中部地方	中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中部地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。

2 学期	【地理】 日本の諸地域	関東地方	関東地方について、他地域との結びつきを中核とした地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	関東地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察している。	関東地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
3 学期	【歴史】 近代国家の歩みと国際社会	明治政府による「近代化」の始まり 近代国家への歩み	開国とその影響を諸資料から調べてまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。	幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや開国の影響・江戸幕府の滅亡について、主体的に追究しようとしている。
		帝国主義と日本	日清・日露戦争、条約改正などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。	議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。	我が国の国際的な地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
		アジアの強国の光と影	我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・芸術等の発展を基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	産業の発展が国民生活や文化に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
	【地理】 日本の諸地域	東北地方	東北地方について、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	東北地方の地域的特色を、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	東北地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		北海道地方	北海道地方について、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	北海道地方の地域的特色を、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	北海道地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。

令和8年度 数学 第2学年 年間指導計画

指導時期	章	節
4月	1章 式の計算	1節 式の計算 1 式の加法, 減法 2 いろいろな多項式の計算 3 単項式の乗法, 除法
		2節 文字式の利用 1 文字式の利用
5月	2章 連立方程式	章末問題
		1節 連立方程式 1 連立方程式とその解 2 連立方程式の解き方
6月 7月	3章 一次関数	2節 連立方程式の利用
		章末問題
8月 9月	3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ 1 一次関数 2 一次関数の値の変化 3 一次関数のグラフ 4 一次関数の式を求めること
		2節 一次関数と方程式 1 方程式とグラフ
		3節 一次関数の利用 1 一次関数の利用
		章末問題
10月	4章 図形の調べ方	1節 平行と合同 1 角と平行線 2 多角形の角 3 三角形の合同
		2節 図形の性質の利用 1 図形の性質の利用
11月	5章 図形の性質と証明	3節 証明 1 証明とそのしくみ 2 証明の進め方
		章末問題
12月	5章 図形の性質と証明	1節 三角形 1 二等辺三角形 2 直角三角形の合同
		2節 四角形 1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 いろいろな四角形 4 平行線と面積
1月	6章 場合の数と確率	3節 図形の性質と証明の利用 1 図形の性質を利用した証明
		章末問題
1月	6章 場合の数と確率	1節 場合の数と確率 1 確率の求め方 2 いろいろな確率

2 月		2 節 確率の利用 1 確率の利用
		章末問題
	7 章 箱ひげ図と データの活用	1 節 箱ひげ図 1 箱ひげ図 2 データを活用して，問題を解決しよう
3 月		章末問題

令和 8 年度 理科 2 学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4 月	生物の体をつくるもの	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること知る。 動物細胞と植物細胞の特徴を見だし違いを理解する。
	物質の成り立ち	物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。
5 月	植物の体のつくりとはたらき	植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりを理解する。 光合成、呼吸、蒸散のはたらきについて知る。
	物質の成り立ち	物質は原子や分子からできていることを認識する。
6 月	動物の体のつくりとはたらき	消化についての実験を行い、消化の仕組みについて理解する。 消化や呼吸、血液の循環が動物の体に必要な物質を取り入れ、運搬していることや仕組みを知る。
	物質の表し方	原子や分子を化学式で表すことができるようになる。
7 月 8 月	動物の行動のしくみ	動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する
	物質の表し方	化学式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようになる。
9 月	地球をとり巻く大気のようにす	大気圧がはたらいっていることを理解し、身のまわりの大気存在を認識する。 気象要素について知り、天気の変化と関係付けて使えるようにする。
	物質の表し方	化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようになる。
1 0 月	空気中の水の変化	霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。 地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。
	さまざまな化学変化	2 種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。
1 1 月	天気の変化と大気の動き	気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。 日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を理解する。また、それが地球規模の大気の動きの一部であることを捉える
	さまざまな化学変化	さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようになる。
1 2 月	大気の動きと日本の四季	大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。 日本付近で盛衰する 3 つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。
	さまざまな化学変化	酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識する。また、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。

1 月	電流の性質	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだす。 回路の実験を行う中で、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。
	さまざまな化学変化	酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識する。また、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。
2 月	電流の正体	日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだす。 電流の正体について理解する。
	化学変化と物質の質量	化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいことを見だす。
3 月	電流と磁界	日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解する。 直流と交流の違いを捉える。
	化学変化と物質の質量	化学変化では、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。

令和8年度 音楽 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	ギター弾き語り 「カリンカ」「ラ・クンパルシータ」「カントリーロード」	・ギターの各部の名称、構え方、基本的な奏法を学ぶ ・ダイアグラムの読み方を知る ・コードをストローク奏法で弾き、歌を重ねる
	歌唱 「夏の思い出」	・安心して歌うことができる環境を整える ・声量の最大値を目指す・開始音を取る ・日本歌曲の意義と言葉に伴う表現を行う
	鑑賞 「交響曲第5番『運命』」	・音楽を構成する要素を言葉で表わす・音楽に関する語彙を増やす ・オーケストラを構成する各楽器の特性を知る ・ソナタ形式の特徴を知る
	アルトリコーダー 「6音で出来る曲集」	・ドレミファソラの6音を元に複数曲を演奏する ・サミングの奏法を復習する
2 学期	合唱コンクールの取り組み	・発声法、呼吸法を元に理想的な歌唱力を得る ・アナリゼ（楽曲分析）を元に自ら考え、意見を交換し合い音楽を構築する力をつける ・アンサンブル能力を身に付ける
	アルトリコーダー 「1オクターブで出来る曲集」	・ドレミファソラシドの1オクターブ分の音を元に複数曲を演奏する ・アルトリコーダーの「シ」の特殊な運指について確認する ・低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る
	鑑賞 「オペラ『アイーダ』」	・音楽を構成する要素を言葉で表わす・音楽に関する語彙を増やす ・総合芸術と呼ばれるオペラの壮大さを感じる ・他分野の芸術との融合を感じる
3 学期	アルトリコーダー 「1オクターブで出来る曲集」	・ドレミファソラシドの1オクターブ分の音を元に複数曲を演奏する ・アルトリコーダーの「シ」の特殊な運指について確認する ・低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る
	歌唱 「翼をください」 「蛍の光」	・合唱コンクールで身に付けた発声法、呼吸法を元に理想的な歌唱をする ・合唱コンクール、鑑賞で身に付けたアナリゼ（楽曲分析）を元に音楽の普遍的な表現を身に付ける
	鑑賞 「歌舞伎『勧進帳』」	・音楽を構成する要素を言葉で表わす・音楽に関する語彙を増やす ・日本伝統芸能の成り立ちを知り、当時の日本の文化を感じる
	創作 DTM ボーカロイドソフトを使った作曲	・多様なポップスのジャンルを知り、自分のイメージに近いものを選択できるようにする ・言葉のイントネーションと音程、メロディとのかみ合わせを利用する ・コード進行がもたらす効果を予測し、使いこなす

令和8年度 美術 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	鳥獣人物戯画の鑑賞	・ 鳥獣人物戯画の表現の特性やその価値に気付き、日本の美術文化に関心をもつ ・ 墨と筆による表現技法の特性を理解し、その良さを味わう ・ 絵巻物の表現の面白さを知るとともに、鳥獣人物戯画のよさや美しさを感じ取る
	オリジナル鳥獣人物戯画	・ 鳥獣人物戯画から、現代にも通じる面白さを感じ取り、発想を膨らませてオリジナルの鳥獣人物戯画の構想を練る ・ セリフや説明がなくても状況が分かるような工夫をすることで、巻物の良さを作品に生かす ・ 墨と筆による表現技法の特性を生かした制作をする ・ お互いの作品の鑑賞をすることを通し、互いの作品の良さや工夫に気づく
	ドリンクデザイン	・ 実際に市販されているドリンクのデザインを鑑賞し、商品開発の意図や表現の工夫、身近な商品の美しさなどを味わう ・ 消費者の立場に立って、オリジナルのドリンクのデザインを考える ・ 形や色彩などの効果を生かして表現の構想を練る ・ 自分のイメージに合う表現を工夫しながら、意図にあった道具を使って創造的に表現する ・ お互いの作品の鑑賞をすることを通し、互いの作品の良さや工夫に気づく
2 学期	「ゲルニカ」の鑑賞	・ ピカソの作品の造形的なよさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深める ・ 作品が持つメッセージを考え、平和について関心を高める ・ ピカソが生涯制作した別の作品の鑑賞を通し、ピカソの人柄や考え方に触れる ・ ゲルニカの作品を実物大で鑑賞することで、作品の迫力や作者の思いの大きさに触れる
	創作和菓子	・ 季節を表す和菓子のこだわりや魅力に触れる ・ 四季を視点に、自分が表したい和菓子のイメージをもち、主体的に発想し、表現の構想を練る ・ 教材や道具を効果的に扱い、和菓子らしい風合いや形を大切に立体的な作品を制作する ・ お互いの作品の鑑賞をすることを通し、互いの作品の良さや工夫に気づく
	印象派の絵画	・ 西洋美術史において、どのような経緯から印象派が生まれたのかを理解する ・ 印象派の作品を鑑賞することを通して、その特徴を理解し、画家たちがどのような表現を追求したのかを理解する ・ 特に風景画について鑑賞し、その後の制作につなげさせる
3 学期	風景画	・ 自分の記憶に残る風景の写真を各自が用意し、その場から受ける印象や感情をもとに主題を生み出す ・ その主題を表現する意図と工夫について考えながら、創造的に表現する ・ 意図に合う道具や画材を効果的に活用し、制作する ・ お互いの作品の鑑賞をすることを通し、互いの作品の良さや工夫に気づく

令和 8 年度 保健体育科 第 2 学年 年間指導計画

実施学期	単元名・教材名	学習活動の流れ		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	体づくり運動 集団行動 体力テスト	自己の生活や体力に応じ体ほぐしを行い、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける。		
		- 体づくり運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 - 体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 - 運動の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	- 体ほぐしのねらいである「心と体の関係に気付く」，「体の調子を整える」，「仲間と交流する」ことを踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 - 関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 - ねらいや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせ方を見付けている。	- 体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 - 分担した役割を果たそうとしている。 - 仲間の学習を援助しようとしている。 - 健康・安全に留意している。
	陸上競技 (短距離・リレー)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける		
		短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせること	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
	水泳	次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける		
		ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。	泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。
2 学期	球技 (サッカー)	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなどや、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
	球技 (バスケットボール)	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応

				じたプレイなどを認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。
球 技（ベースボール型）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、 作戦などについての話合いに参加しようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
柔道	技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。			
	相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ること。	
器械運動（マット運動、跳び箱運動）	技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。			
	マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。	技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
陸上競技（走り幅跳び）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける			
	走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
球 技（バレーボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、 作戦などについての話合いに参加しようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	

	球技（ハンドボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするこ、仲間の学習を援助しようとするこ、健康・安全に気を配ること。
3 学期	陸上競技（長距離）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける		
		自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるよ うにする。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこなどや、健康・安全に気を配ること。
	現代的なリズムのダンス	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通した交流をすること。		
		現代的なリズムのダンスは、ロックやヒップホップなどの現代的なリズムの曲で踊るダンスを示しており、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って体幹部（重心部）を中心に全身で自由に弾んで踊ること	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするこ、交流などの話合いに参加しようとするこ、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするこなどや、健康・安全に気を配ること。
年間を通して配置	体育理論	運動やスポーツが多様であることについて理解すること。		
		(ア) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要 性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ 発展してきたこと。 (イ) 運動やスポーツには、行うこと、見るこ、支えること及び知ること などの多様な関わり方があること。 (ウ) 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむために は、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが 大切であること。	運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと。
	保健	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能 を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断 するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む 態度を養う。		
		(1) 健康な生活と疾病の予防 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (3) 傷害の防止 (4) 健康と環境		

令和8年度 技術・家庭（技術分野） 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1学期	ガイダンス	3年間（1年時の内容を含む）の技術分野の学習の見通しを立て、内容のAからDを理解する。
	材料と加工の技術 ・電動工具を使用した木材加工	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 以下の活動を通して、木材加工を学ぶ。 ・注文者からオーダーを聞き、等角図により構想図をかく。 ・オーダーを受けた木製品に必要な部品を材料に配置する計画を立てる。 ・材料に加工に必要な線を正確に書き入れる。（けがき） ・電動丸のこ盤を使用し、安全な切断を行う。 ・電動ボール盤を使用し、安全な穴あけを行う。 ・適正な工具を選択し、安全に組み立てを行う。 ・仕上げ
2学期	材料と加工の技術 ・金属加工によるちりどりの製作	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 以下の活動を通して、金属加工を学ぶ。 ・金属の特性、金属の加工法を理解したうえで、ちりどりの製作に適した材料を選択する。 ・金属を加工する前に、紙で模型を作成する。 ・材料に加工に必要な線を正確に書き入れる。（けがき） ・金切りばさみを使用し、安全な切断を行う。 ・ペンチ、折り台、打ち木を使用し、安全な折り曲げを行う。 ・はんだごてを使用し、安全な接合を行う。 ・仕上げ
3学期	生物育成の技術 ・じゃがいもの栽培	正しい資材や用具、設備を使用して、安全・適切に、生物の成長段階に応じた管理作業や病気や害虫等の防除、生物の生育状況や品質の検査を行い、じゃがいものを栽培する。
	エネルギー変換の技術 ・野菜電池と太陽電池	じゃがいも電池、太陽電池を使い、新エネルギー技術や省エネルギー技術などが自然環境の保全に大きく貢献していることについて触れ、新たな技術の開発についての理解を深める。
	情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツ	チャットボットの制作を通して、互いにコメントなどを送受信できる簡易なチャットを教室内で再現し、更に利便性や安全性を高めるための機能を追加する等、家庭生活や学校生活における情報の表現や交流に関わる身近な不便さについて考える。

令和8年度 教科名 家庭科 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	1 編 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ① どうして食事をするのだろう	・食事の役割についてまとめ、自分の生活で大切にしたいことを挙げる。
	1 編 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ② 私たちの食生活	・食生活を点検し、課題を見つける。 ・心身の健康に良い食習慣について考える。 ・課題の解決方法について考える。
	1 編 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ③ 栄養素ってなんだろう	・栄養素の種類と働きについてまとめる。 ・体内での水の働きをまとめる。 ・栄養素をとる必要性についてまとめる。
	1 編 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ④ 中学生に必要な栄養	・中学生に必要な栄養の特徴について考える。
	1 編 2 章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ① 食品に含まれる栄養素	・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べる。 ・食品の可食部 100 g と 1 回に食べやすい量に含まれるカルシウムの量の違いを把握する。
	1 編 2 章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ② 何をどのくらい食べればよいか	・カレーライスを例に、1 日に足りない栄養素について考える。 ・身近な食品を栄養的な特徴により 6 つの食品群に分類する。 ・食品群別摂取量の目安と 1 日に必要な食品の種類と概量を知る。 ・カレーライスに追加するとよい食品について確認する。
	1 編 2 章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ③ バランスの良い献立作り	・中学生に必要な栄養を満たす 1 日分の献立を考える。
2 学期	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ④ 日本の食文化と和食の調理	・地域の食材や季節の食材について調べる。 ・地域の食文化について調べる。 ・地域の食材を用いた和食の調理をする
	1 編 3 章 調理のための食品の選択と購入 ① 食品の選択と購入	・食品を選択する観点についてまとめる。 ・食品の表示について調べ、まとめる。 ・用途に応じた食品の選択について考える。
	1 編 3 章 調理のための食品の選択と購入 ② 生鮮食品の特徴	・生鮮食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・自分が重視したい生鮮食品の特徴や表示をまとめる。
	1 編 3 章 調理のための食品の選択と購入 ③ 加工食品の特徴	・加工食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。 ・自分が重視したい加工食品の特徴や表示をまとめる。
	1 編 3 章 調理のための食品の選択と購入 ④ 食品の保存と食中毒の防止	・食品のさまざまな保存方法を知り、適切な管理のためにできることをまとめる。 ・食中毒の防止について考える。

	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ① 日常食の調理	・献立を決め、食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ・調理実習の準備をする。 ・安全と衛生に気をつけて調理をする。 ・試食をする。 ・後かたづけをする。 ・調理実習を振り返り、反省・評価をする。
	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ② 野菜・いもの調理	・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・調理上の性質を踏まえ、安全と衛生に気をつけて、野菜・いもの調理をする。
	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ③ 肉の調理	・肉の調理上の性質を知る。 ・調理上の性質を踏まえ、安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。
	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ④ 魚の調理	・魚の調理上の性質を知る。 ・調理上の性質を踏まえ、安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。
	1 編 4 章 日常食の調理と地域の食文化 ⑤ 持続可能な食生活を目指して	・食生活を取り巻く問題を把握し、持続可能な食生活を目指して課題を見つけ、解決方法を考える。
3 学期	4 編 1 章 私たちの消費生活 ① 消費者としての自覚	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。
	4 編 1 章 私たちの消費生活 ② 購入方法と支払い方法	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について確認する。
	4 編 1 章 私たちの消費生活 ③ バランス良く計画的な金銭の管理	・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。
	4 編 1 章 私たちの消費生活 ④ 消費者トラブルとその対策	・計画的な金銭管理の必要性を理解する。 ・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・自分に合った金銭管理の方法を考えてまとめる。
	4 編 1 章 私たちの消費生活 ⑤ 何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～	・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・消費者トラブルの解決方法をグループで話し合い、発表する。
	4 編 2 章 責任ある消費者になるために ① 消費者としてできること～権利と責任～	・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
	4 編 2 章 責任ある消費者になるために ② 省エネルギーと持続可能な社会	・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響について知らせ、エネルギー消費を減らす方法について考える。
	4 編 2 章 責任ある消費者になるために ③ 持続可能な消費生活を目指して	・持続可能な消費生活を目指して課題を見つけ、解決方法を考える。

令和7年度 英語 2学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4月	Lesson 1 Meet New Friends 博物館のイベント	助動詞 will の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 助動詞 will の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。
	Goal Activity	1年生のときに経験した学校行事などを紹介する。新しい ALT の先生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
	Language Focus 1	時制の復習
	Take Action Listen 1	空港のアナウンス 空港のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉える。 搭乗券に記載されている便に乗るために、（場所や時刻に着目し、）空港のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉えている。
5月	Take Action Read 1	博物館のイベントの案内を読んで、必要な情報を捉える。 相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（できることや時間に着目し、）イベントの内容について書かれた案内を読んで、必要な情報を捉えている。
	Lesson 2 Fun with Books お気に入りの本	接続詞 when や if を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 接続詞 when や if を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 接続詞 that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 接続詞 that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 〈be sure that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 〈be sure that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。
	Small talk plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容に関連する質問をしながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。
	Goal Activity	新しい ALT の先生に、日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介する。 日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。
	Language Focus 2	接続詞
6月	Take Action Listen 2	チャリティーコンサートの案内を聞いて、要点を捉える。 イベントに参加するかどうかを決めるために、（目的や活動内容に着目し、）イベントの内容について話された案内を聞いて、要点を捉えることができる。「提案する」「要望する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。

	Take Action Talk 2	店で買い物をする。／要望に合わせて提案する。 「提案する」「要望する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
	Lesson 3 My dream 将来の夢	to 不定詞（名詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 to 不定詞（名詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 to 不定詞（副詞用法・形容詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 to 不定詞（副詞用法・形容詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 must ... / must not ...の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 must ... / must not ...の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる
	Small Talk plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、自分が理解したことを相手に伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。
	Goal Activity	『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉える。 経歴をまとめるために、（問題と解決策を整理し、）『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。
	Language Focus 3	to + 動詞の原形 [to 不定詞]、must
7 月	Take Action Listen 3	ボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉える。 プレゼントを決めるために、（質問の答えに着目し、）相手の予定や好みについて話されたボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉えることができる。
	Project 1 My Dream	スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
	Reading Lesson 1 The Tale of Peter Rabbit	物語を読んで、概要を捉える。 物語のあらすじをまとめるために、気持ちの移り変わりに着目し、ピーターラビットの冒険物語を読んで、概要を捉えることができる。
8 月 9 月	Lesson 4 Safe Clean water 安全できれいな水	There is [are]を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 There is [are]を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
	Small Talk plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、話題を広げながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。
	Gola Activity	身近な環境問題について、問題点と解決策をレポートにまとめる。 海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。

	Language Focus 4	There is [are]、動名詞、have to ...
	Take Action Listen 4	ラジオニュースを聞いて、概要を捉える。 活動に参加するかどうかを決めるために、（活動内容や参加者の感想に着目し、）ニュースを聞いて、概要を捉えることができる。
1 0 月	Take Action talk 2	山に遊びに行ったらしたいことや、修学旅行のお土産について話し合う。 「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
	Lesson 5 Visiting Australia オーストラリア旅行	〈動詞（show など）+ A + B〉を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 〈動詞（show など）+ A + B〉を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 〈動詞（call, make など）+ A + B〉を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 〈動詞（call, make など）+ A + B〉を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 〈how + to + 動詞の原形〉を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 〈how + to + 動詞の原形〉を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
	Small Talk Plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。
	Goal Activity	海外から来る旅行者向けに、町や地域の魅力を伝える動画を作る。 海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
	Language Focus 5	動詞（show, call など）+ A + B、疑問詞（how など）+ to ...
	Take Action Talk 3	駅で困っている旅行者に、電車の乗り換えを案内する。 「行き方をたずねる」「行き方を説明する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
1 1 月	Take Action Read 2	オンラインショップのウェブサイトを読んで、必要な情報を捉える。 相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（機能や価格に着目し、）商品について書かれたウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えることができる。
	Lesson 6 Friends from Singapore 姉妹校から来た友達	形容詞の比較級・最上級（-er / -est）を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 形容詞の比較級・最上級（-er / -est）を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 形容詞の比較級・最上級（more / most）を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 形容詞の比較級・最上級（more / most）を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 同等比較（as ... as ～）や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 同等比較（as ... as ～）や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。

	Goal Activity	シンガポールの中学生から届いたメールを読んで、要点を捉える。 筆者の考えや気持ちをまとめるために、（事実と筆者の考えや気持ちに着目し、）海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えることができる。
	Language Focus 6	比較、助動詞
	Project 2 人気のあるモノ調査	海外の学校の生徒に、日本のおすすめの食べ物をランキングにして紹介する。 海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
12月 1月	Reading Lesson 2 Online Experiences	ツアーや教室の特徴をまとめるために、（事実と筆者の考えや気持ちに着目し、）できることや参加者のレビューについて書かれた案内を読んで、概要を捉えることができる。
	Lesson 7 Gifts from China 中国のおみやげ	現在完了形（経験用法）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 現在完了形（経験用法）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。
	Small Talk Plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、自分の考えとその理由や根拠を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。
	Goal Activity	海外からの旅行者に紹介したい商品の説明を書く。 海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。
	Language Focus 7	tell + A + that ..., 前置詞
	Take Action Listen 5	インタビューを聞いて、要点を捉える。 インタビューで取り上げられている人に質問するために、（質問とその回答に着目し、）インタビューを聞いて、要点を捉えることができる。
	Take Action Talk 4	無人島に持って行くものや、船に 24 時間乗るときに持って行くものについて話し合う。 「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。

2月 3月	Lesson 8 Rakugo Goes Overseas “落語”から“ <i>rakugo</i> ”へ	現在完了形（完了用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 現在完了形（完了用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 現在完了形（継続用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 現在完了形（継続用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。
	Goal Activity	大島希巳江さんのインタビュー記事を読んで、要点を捉える。 記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、（考えや意見を述べる表現に着目し、）インタビュー記事を読んで、要点を捉えることができる。
	Language Focus 8	現在完了形
	Project 3 好きなもの×観光マップ	テーマを決めて、紹介したいものや訪れてほしい場所をまとめた観光マップを作る。 海外から日本に来る観光客にすすめるために、紹介したいものや訪れてほしい場所について、説明やおすすめ理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。
	Reading 3	物語を読んで、概要を捉える。 物語のあらすじと登場人物の性格をまとめるために、（登場人物に着目し、）小僧と和尚の物語を読んで、概要を捉えることができる。